

令和7年度 京都大学一般選抜 出題意図等

外国語（英語）

- ・「出題意図等」とは、出題意図または標準的な解答例のことです。
- ・入学試験問題の満点や配点については、試験問題に記載のとおりです。
- ・各学部における個別学力検査の配点については、一般選抜学生募集要項に記載のとおりです。
- ・標準的な解答例については、ここに示す表記に限るものではありません。
- ・「出題意図等」についての質問および問い合わせには対応いたしません。

令和7年度
外国語（英語）

I

少数言語が急速に消滅しつつある現状を踏まえ、言語の多様性を維持することの重要性を多角的に論じた文章。いずれも和訳問題。(1) 無生物主語を用いた構文の適切な訳出や however の用法を的確に捉えているか、(2) 数量表現の適切な訳し分けや複数の意味を持つ単語の中から文脈に即した語を選択できるか、(3) 関係代名詞節の先行詞や代名詞 it の正しい把握と、それに基づいた適切な訳出ができるか、など、いずれも文の構造を的確に理解し、全体の流れを踏まえた自然な日本語訳を作成できるかを問う。

II

ビッグバンに関する議論を、現在の科学技術の状況を踏まえて論じた文章。(1)は指示対象を問うことで文脈を的確に把握できるかを確認し、限られた字数内で要点を整理する力を問う。(2)(3)はいずれも和訳問題。(2)関係代名詞節の訳出や等位接続詞 or を適切に解釈できるか、(3)"not so much ~ but …"の構造や that 節内の内容を的確に捉え、息の長い文章を取りこぼしなく訳出できるか、など、いずれも、文の構造を正しく理解し、全体の流れを考慮した上で、適切な日本語に訳せるかが求められる。

III

和文英訳。平易な日本語で書かれた小文を英語に訳した際、文意を正しく伝えながら、英語として自然な表現や適切な語彙が選択されているかを確認する。

IV

指定された条件のもと、導入、展開、結論という流れに沿った論理的な議論を、適切な語句を用い、文法的に正しい英語で展開できる能力を問う。